

優良防犯ブザー推奨制度

この制度の経緯と概要

警察庁は、平成 18 年 3 月、文部科学省、経済産業省、(財)全国防犯協会連合会、(社)日本PTA全国協議会、(社)電池工業会と連携して「子ども防犯ブザーに関する検討会議」を設け、同年 11 月に防犯ブザーの性能基準を決定した。

これを受けて、(財)全国防犯協会連合会では、製造業者等から申請があった場合に、性能基準に適合していることが確認された製品について、推奨マークを付与する制度を設け、推奨商品を公開している。



防犯ブザーの性能基準

実効性のある防犯ブザーの性能基準については、(社)電池工業会が工業規格として作成し、「子ども防犯ブザーに関する検討会議」で了承された。その主な内容は次のとおりである。

- 音色 ・高い周波数と低い周波数を繰り返す変動周期を持つこと。
- 音量 ・音量は 85 d B 以上とすること。
- 連続吹鳴時間 ・連続して吹鳴させた場合に、表示音量の 90% 以上の音量が 20 分間以上保てること。
- 操作性 ・引き紐あるいは押しボタン等の操作は児童が容易に操作できること。(以上、警察庁生活安全局広報資料参照)

なお、性能基準に適合する防犯ブザーのサンプル音は、警察庁のホームページ内の以下の URL のページで聞くことができる。

- ・「性能基準に適合する防犯ブザーのサンプル音について」

<http://www.npa.go.jp/safetylife/seianki67/index.html>

性能基準以外の推奨基準も

先述した性能基準の他、(財)全国防犯協会連合会では、以下の点などを推奨基準に加えている。

- 外部に鋭い突起物がないことなど、受傷のおそれがないものであること。
- 子どもが携帯するに当たって、適切な重量、形状

であること。

平成 22 年 3 月現在で、79 点の防犯ブザーが「優良防犯ブザー推奨品目録」に掲載されている。この目録は、(財)全国防犯協会連合会のホームページ内の以下の URL のページで閲覧することができる。

「優良防犯ブザー推奨品目録」

<http://www.bohan.or.jp/buzzer/pdf/mokuroku.pdf>

防犯ブザーの故障が多発しているという現状も

昨今、非常に多くの防犯ブザーが市販されているため、いったいどれを選べばよいのか迷ってしまう、という場合には、この制度を 1 つの目安にすることができ一方、この制度だけに頼ってしまうことに危険もある。

平成 20 年 10 月、(独)国民生活センターは、「優良防犯ブザー推奨品」であっても、1 m の高さから 6 回落下させるなどの衝撃を加えると作動しなくなる商品がテスト対象 8 銘柄全てにあったと発表している。これにより、「優良防犯ブザー推奨品」であるか否かに関わらず、「携帯時に普段から強い衝撃を与えるなど乱暴な扱いをしないようにする」「家庭や学校等で定期的に作動確認を行うようにする」などと消費者に呼びかけている。

これを受けて、(財)全国防犯協会連合会も、「最低 1 か月に 1 回程度、防犯ブザーの試験をする」「音量が小さくなってきたときは電池の消耗が考えられるため、速やかに電池を交換する」などの注意喚起をしている。